

第 13 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム

SSC Symposium 2019

日 程	2019 年 2 月 16 日 (土) 9:15 ~ 17:55 ※ 8:45 より受付を開始いたします
会 場	野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区日本橋室町 2-4-3 日本橋室町野村ビル (YUITO) 6F 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A9 出口直結 徒歩 1 分) http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/
世話人	藤井 輝久 (広島大学病院 輸血部)
参加費	会 員 3,000 円 非会員 4,000 円 学 生 2,000 円 (学生証を提示) ※参加費は抄録集代を含む

プログラム

学術標準化委員会シンポジウム
午前の部

1. DIC 部会 (10:10 ~ 12:10)

テーマ「DIC の新たな診断法と治療法の確立を目指して」

第 1 部

座長: 池添隆之 (福島県立医科大学 血液内科学講座)

関 義信 (新潟大学魚沼地域医療教育センター 血液内科)

1-1. DIC 患者の APTT 波形解析

鈴木 圭¹⁾, 今井 寛¹⁾, 和田英夫²⁾, 松本剛史^{1,3)}

(¹⁾三重大学医学部附属病院 救命救急・総合集中治療センター, ²⁾同大学院医学系研究科 検査医学, ³⁾同医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

1-2. 敗血症性 DIC 患者における凝固波形解析・線溶波形解析

矢田憲孝¹⁾, 西尾健治¹⁾, 對馬恵美子¹⁾, 大西智子²⁾, 松本智子³⁾, 福島英賢⁴⁾

(¹⁾奈良県立医科大学 総合医療学, ²⁾同 小児科学, ³⁾天理医療大学医療学部 臨床検査学科,
⁴⁾奈良県立医科大学 救急医学)

1-3. 腫瘍崩壊症候群に合併する DIC における核内タンパクの関与

原田佳代¹⁾, 王 新涛¹⁾, 深津真彦¹⁾, 高橋裕志¹⁾, 七島晶子¹⁾, 木村 哲¹⁾, 大河原浩¹⁾,
山田晋吾²⁾, 伊藤隆史³⁾, 池添隆之¹⁾

(¹⁾福島県立医科大学 血液内科学講座, ²⁾株式会社シノテスト R&Dセンター 免疫遺伝子ユニット,
³⁾鹿児島大学医学部 救命救急センター・システム血栓制御学講座)

1-4. 機械学習手法を用いた ICU 患者の DIC 進行度予測の時系列解析

園生智弘¹⁾, 二宮英樹²⁾, 加嶋颯太³⁾, 奈良場啓¹⁾, 神田直樹¹⁾, 高橋雄治¹⁾, 橋本英樹¹⁾,
中村謙介¹⁾

(¹⁾日立総合病院 救急集中治療科, ²⁾データック株式会社・慶應義塾大学 医療政策・管理学教室,
³⁾東京大学教養学部 理科三類)

第 2 部

座長：山川一馬(大阪急性期・総合医療センター)

早川峰司(北海道大学病院 先進急性期医療センター)

2-1. Trial sequential analysis から考えるトロンボモジュリン研究の次の一手

～ a systematic review and meta-analysis ～

村尾修平, 山川一馬, 吉村旬平, 藤見 聡(大阪急性期・総合医療センター 救急診療科)

2-2. 敗血症における凝血学的バイオマーカーの Cubic spline model 解析

松原庸博¹⁾, 山川一馬²⁾, 梅村 穰¹⁾, 小倉裕司¹⁾, 嶋津岳士¹⁾

(¹⁾大阪大学 高度救命救急センター, ²⁾大阪急性期・総合医療センター)

2-3. ヤマカガン咬傷による凝固障害

一二三亭¹⁾, 山本明彦²⁾, 堺 淳³⁾

(¹⁾聖路加国際病院 救急部, ²⁾国立感染症研究所 バイオセーフティ室, ³⁾日本蛇属学術研究所)

2-4. 一酸化窒素(Nitric oxide : NO)を用いた全身性虚血再灌流障害における活性化血小板および血管内皮障害の制御

林田 敬(マサチューセッツ総合病院 麻酔集中治療科/ハーバード医学校,

慶應義塾大学医学部 救急医学教室)

2. HIT 部会(10 : 10 ~ 12 : 10)

テーマ「ヘパリン起因性血小板減少症の診断, 治療ガイドライン策定に向けて—Clinical Question に対する最新情報—」

座長：矢富 裕(東京大学大学院医学系研究科 臨床病態検査医学)

宮田茂樹(国立循環器病研究センター 臨床検査部)

CQ1. ヘパリン投与患者で, どのような場合に HIT のスクリーニングが必要か? またどのような患者で HIT を発症しやすいか?

高田真紀子(東京都立多摩総合医療センター 麻酔科)

CQ2. HIT を疑う際に, 有用な臨床的診断法はどれか, また, どのように臨床的診断法を活用し, HIT を診断・治療すべきか?

河野浩之(杏林大学医学部 脳卒中医学)

CQ3. HIT の診断を確定させる際に, 有用な血清学的診断法はどれか?

安本篤史(東京大学大学院医学系研究科 臨床病態検査医学)

CQ4. 代替抗凝固薬をどのように使用すべきか?

伊藤隆史(鹿児島大学病院 救命救急センター, 同大学院医歯学総合研究科 システム血栓制御学講座)

- CQ5. どのような症例で抗凝固薬以外の治療を検討すべきか？
宮田茂樹(国立循環器病研究センター 臨床検査部)
- CQ6. 経口抗凝固薬への切り替えをどのようにすべきか？
大谷美穂(札幌医科大学 解剖学第二講座)
- CQ7. HIT 既往患者への抗凝固療法(ヘパリン再投与を含めた)はどのようにすべきか？
土井洋平(大阪大学 腎臓内科学)

3. 凝固線溶検査部会(10:10～12:10)

テーマ「止血血栓の臨床を支える検査」

座長：橋口照人(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学)

山崎昌子(東京女子医科大学 脳神経内科)

1. 臨床検査としての凝固波形解析の活用法と今後の展望
徳永尚樹(徳島大学病院 診療支援部 臨床検査技術部門)
2. 抗凝固薬の凝固波形パラメータへの影響
藤森祐多(慶應義塾大学病院 臨床検査科)
3. APTT 波形による止血能のモニター
和田英夫(三重大学大学院医学系研究科 検査医学)
4. VKORC1 遺伝子多型の血中ビタミン K 濃度とワルファリンコントロールに及ぼす影響
長尾毅彦¹⁾, 安西香織²⁾, 熊谷裕通²⁾, 小谷英太郎³⁾, 木村和美⁴⁾
(¹⁾日本医科大学多摩永山病院 脳神経内科, ²⁾静岡県立大学 臨床栄養学, ³⁾日本医科大学多摩永山病院 循環器内科, ⁴⁾日本医科大学 神経・脳血管内科)
5. 大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術前後での末梢血, 凝固系の検討
上田英昭¹⁾, 松本和久¹⁾, 山口宗一²⁾, 竹之内和則²⁾, 大山陽子²⁾, 橋口照人²⁾, 井本 浩¹⁾
(¹⁾鹿児島大学医歯学総合研究科 心臓血管・消化器外科学, ²⁾同 血管代謝病態解析学)
6. 遺伝子組換えトロンボモジュリン製剤の抗凝固作用の評価のための活性化プロテイン C 活性値測定を試み
八島 望^{1,2,3)}, 伊藤隆史^{1,2)}, 丸山征郎²⁾, 有嶋拓郎¹⁾, 垣花泰之¹⁾
(¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 救急・集中治療医学分野, ²⁾同 システム血栓制御学講座, ³⁾山形大学大学院医学系研究科 麻酔科学講座)

4. 血友病部会(10:10～12:10)

テーマ「今後の血友病診療を考える」

第1部 血友病診療連携ネットワークの活動報告

座長：白幡 聡(北九州八幡東病院)

1-1. 中央運営協議会 議長より

天野景裕(東京医科大学 臨床検査医学)

1-2. 地域中核病院としての取り組み

羽藤高明(愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

- 1-3. 血友病診療連携ネットワークとブロック拠点病院としての取り組み
岡 敏明(札幌徳洲会病院 小児科／血友病センター)

第2部 Non-factor therapy 時代における凝固因子製剤の役割

座長：福武勝幸(東京医科大学 臨床検査医学)

2-1. Non-factor therapy とは？

藤井輝久(広島大学病院 輸血部)

2-2. エミシズマブ使用時の凝固因子製剤の使い方

1) モニタリング法

野上恵嗣(奈良県立医科大学 小児科)

2) 出血時及び手術時

鈴木隆史(荻窪病院 血液凝固科)

3) ITI との併用

酒井道生(宗像水光会総合病院 小児科)

4) インヒビターのない患者における使い方

長江千愛(聖マリアンナ医科大学 小児科)

2-3. デイスカッション

司会：日笠 聡(兵庫医科大学 血液内科)

午後の部

5. 抗リン脂質抗体部会(13:20～14:50)

テーマ「抗リン脂質抗体～標準化から実臨床へ～」

1. LA 部門

座長：山崎 哲(聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部)

APTT 系ループスアンチコアグラント検査の標準化への試み

内藤澄悦¹⁾，山崎 哲²⁾，鈴木典子²⁾，徳永尚樹³⁾，叶内和範⁴⁾，井上まどか⁵⁾，静 怜子⁶⁾，
家子正裕⁷⁾

(¹⁾北海道医療大学病院 臨床検査部，²⁾聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部，³⁾徳島大学病院 診療支援部，⁴⁾山形大学医学部附属病院 検査部，⁵⁾群馬大学医学部附属病院 検査部，⁶⁾群馬大学大学院医学系研究科，⁷⁾北海道医療大学歯学部 内科学分野)

2. SPA 部門

座長：保田晋助(北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学)

抗リン脂質抗体価測定標準化に向けた自動分析装置による測定法の有用性

關谷暁子¹⁾，吉田美香²⁾，本木由香里³⁾，金重里沙³⁾，家子正裕⁴⁾，森下英理子¹⁾，野島順三³⁾

(¹⁾金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 病態検査学，²⁾北海道医療大学病院 臨床検査部，
³⁾山口大学大学院医学系研究科 基礎検査学講座，⁴⁾北海道医療大学歯学部 内科学分野)

3. APS 部門

座長：野島順三(山口大学大学院医学系研究科 基礎検査学講座)

抗リン脂質抗体症候群の治療：an update

藤枝雄一郎(北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

6. 血栓溶解部会(13:20～15:20)

テーマ「血栓溶解の現状と展望」

座長：窓岩清治(東京都済生会中央病院 臨床検査医学科)

竹下享典(埼玉医科大学 中央検査部)

1. 脳梗塞治療の線溶療法 update

長尾毅彦(日本医科大学多摩永山病院 脳神経内科)

2. 肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症に対する血栓溶解療法の up to date

山田典一(桑名市総合医療センター 循環器内科)

3. 線溶亢進病態とトラネキサム酸の可能性

丸藤 哲(札幌東徳洲会病院 侵襲制御救急センター)

4. PAI-1 阻害薬の臨床応用に向けて

八幡 崇¹⁾，安藤 潔²⁾，宮田敏男³⁾

(¹⁾東海大学医学部 再生医療科学，²⁾東海大学医学部 血液・腫瘍内科学，³⁾東北大学大学院
医学系研究科 分子病態治療学分野)

5. TAFIa 阻害薬による新しい線溶療法の可能性

三吉直樹(第一三共株式会社 臨床開発部)

7. 凝固系／抗凝固療法部会(13:20～15:20)

座長：古賀 震(SBS 静岡健康増進センター)

川杉和夫(帝京大学医療技術学部)

1. テーマ「凝固因子に関連した出血傾向」

1-1. 後天性血友病 A 症例における寛解後の FVIII 活性過剰上昇に関する検討

小川孔幸(群馬大学医学部附属病院 血液内科)

1-2. AL アミロイドーシスにおける凝固線溶異常

荒幡昌久，高松博幸，朝倉英策(金沢大学附属病院 血液内科)

2. テーマ「血栓症と抗凝固療法」

2-1. DOAC の減量基準と低用量使用は有効か

上塚芳郎(東京女子医科大学附属成人医学センター)

2-2. がん関連血栓症(CAT)と DOAC

関 義信(新潟大学魚沼地域医療教育センター 血液内科)

2-3. 高齢者における D-dimer と SFMC の動態

川杉和夫¹⁾，山本 義²⁾(¹⁾帝京大学医療技術学部，²⁾同医学部 血液内科)

8. VWD/TMA 部会 (13 : 20 ~ 15 : 20)

テーマ「二次性血栓性微小血管障害症(二次性 TMA)」

座長：日笠 聡(兵庫医科大学 血液内科)

1. 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)の診断と治療に関する最近の進歩

松本雅則(奈良県立医科大学 輸血部)

2. 二次性 TMA

2-1. 膠原病に伴う TMA

桑名正隆(日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科学分野)

2-2. 腎移植後 TMA の病態と迅速な臨床診断・治療について

田邊一成(東京女子医科大学 泌尿器科)

2-3. 妊娠に伴う TMA 関連疾患(aHUS, AFLP, HELLP)

田中 守(慶應義塾大学医学部 産婦人科学)

3. VWD ガイドラインの作成状況

日笠 聡(兵庫医科大学 血液内科)

9. 血栓性素因部会 (15 : 00 ~ 17 : 00)

テーマ「遺伝性血栓性素因の診療ガイドライン作成に向けて」

座長：森下英理子(金沢大学医薬保健研究域保健学系 病態検査学)

小嶋哲人(名古屋大学医学部 保健学科 病態解析学)

第1部 検査・診断

1-1. 我が国の健常成人におけるアンチトロンビン活性基準値制定の取り組み

家子正裕¹⁾, 森下英理子²⁾, アンチトロンビン標準化ワーキンググループ³⁾

(¹⁾北海道医療大学歯学部 内科学分野, ²⁾金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 病態検査学講座, ³⁾アンチトロンビン標準化ワーキンググループ)

1-2. トロンボモジュリン添加凝固波形を用いた PC/PS 経路異常スクリーニングの開発と FV 分子異常症

橋本直樹¹⁾, 下西成人¹⁾, 荻原建一¹⁾, 吉田純子²⁾, 堀江恭二²⁾, 野上恵嗣¹⁾, 嶋 緑倫¹⁾

(¹⁾奈良県立医科大学 小児科, ²⁾同生理学第2)

1-3. トロンビン Na binding region のミスセンス変異は多くがアンチトロンビン抵抗性を示すが, 凝固活性も低下する

田村彰吾¹⁾, 川上 萌²⁾, 勝見 章³⁾, 高木 明¹⁾, 早川文彦¹⁾, 小嶋哲人¹⁾

(¹⁾名古屋大学大学院医学系研究科 病態解析学講座, ²⁾同医学部附属病院 輸血部, ³⁾国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)

1-4. レジストリ研究からみる特発性血栓症患者の特徴(遺伝的背景を含む)

辻 明宏¹⁾, 宮田敏行²⁾

(¹⁾国立循環器病研究センター 心臓血管内科 肺循環部門, ²⁾同脳血管内科)

第2部 遺伝性血栓性素因の診療における課題

2-1. 先天性アンチトロンビン欠乏症妊婦の周産期管理はどうあるべきか？

根木玲子¹⁾，宮田敏行²⁾

(¹⁾国立循環器病研究センター 周産期遺伝相談室，周産期婦人科，²⁾同 脳血管内科)

2-2. 未発症の先天性血栓性素因保持者への対応

篠澤圭子(東京医科大学 血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座)

<症例提示>未発症の先天性アンチトロンビン欠乏症ヘテロ接合体保持者が血栓症を発症するまで
森下英理子(金沢大学医薬保健研究域保健学系 病態検査学)

10. 血小板部会(15:30～17:00)

テーマ「血小板減少時の血小板機能と，抗血小板療法／抗凝固療法」

座長：羽藤高明(愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

横山健次(東海大学医学部附属八王子病院 血液腫瘍内科)

1. 全国 ITP 患者統計からみた出血症状と血小板数の関連性

羽藤高明¹⁾，島田直樹²⁾，富山佳昭³⁾，村田 満⁴⁾

(¹⁾愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部，²⁾国際医療福祉大学 基礎医学研究センター，
³⁾大阪大学医学部附属病院 輸血部，⁴⁾慶應義塾大学医学部 臨床検査医学)

2. 血小板数低値の場合施行可能な血小板機能，活性化血小板の測定法

松原由美子¹⁾，清水美衣^{2,3)}

(¹⁾慶應義塾大学医学部 臨床研究推進センター，²⁾名城大学薬学部 環境科学研究室，³⁾横浜市立脳卒中神経脊髄センター 臨床研究部)

3. Flow cytometry を用いた慢性 ITP 患者の血小板機能解析

柏木浩和¹⁾，西浦伸子¹⁾，富山佳昭²⁾

(¹⁾大阪大学医学系研究科 血液・腫瘍内科学，²⁾同医学部附属病院 輸血部)

4. 血小板減少時の抗血小板療法／抗凝固療法のアンケート調査

横山健次(東海大学医学部附属八王子病院 血液腫瘍内科)

11. 静脈血栓症／肺塞栓症部会(15:30～17:00)

テーマ「VTE ガイドライン改訂版の改訂ポイントと今後の課題」

座長：山田典一(桑名市総合医療センター 循環器内科)

保田知生(がん研究会 有明病院 医療安全管理部)

1. オーバービュー

山田典一(桑名市総合医療センター 循環器内科)

2. 急性肺血栓塞栓症の診断・治療

山本 剛(日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科)

3. 深部静脈血栓症の診断・治療

孟 真(横浜南共済病院 循環器センター 心臓血管外科)

4. 静脈血栓塞栓症の予防

池田正孝(兵庫医科大学 外科学講座 下部消化管外科)

5. まとめ

保田知生(がん研究会 有明病院 医療安全管理部)

共催セミナー

モーニングセミナー(9:15～10:00)

1. 「妊娠関連静脈血栓症－血液凝固学的指標に再び光を当てる」
座長：小嶋哲人(名古屋大学大学院医学系研究科・医学部 保健学科)
演者：杉村 基(浜松医科大学医学部医学科 産婦人科・家庭医療学講座)
共催：積水メディカル株式会社
2. 「臨床経験から見る慢性ITPに対するリツキシマブ治療の有用性とその意義」
座長：宮川義隆(埼玉医科大学病院)
演者：西脇嘉一(東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科)
共催：全薬工業株式会社
3. 「単鎖構造(rVIII-SingleChain)を科学する」
座長：福武勝幸(東京医科大学 臨床検査医学分野)
演者：野上恵嗣(奈良県立医科大学 小児科学教室)
共催：CSL ベーリング株式会社
4. 「SHLとEHL、どう使いましょう？ 第VIII因子製剤」
座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学 小児科学教室)
演者：鈴木隆史(医療法人財団 荻窪病院 血液凝固科)
共催：バイエル薬品株式会社

ランチオンセミナー(12:25～13:10)

1. 「The micro world of endothelial injury and AT」
座長：池添隆之(福島県立医科大学 血液内科学講座)
演者：岡田英志(岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター)
共催：一般社団法人日本血液製剤機構
2. 「血友病の現在～達成目標(ゴール)はどこ？～」
座長：小倉妙美(静岡県立こども病院 血液腫瘍科)
演者：徳川多津子(兵庫医科大学 血液内科)
共催：ファイザー株式会社
3. 「血友病Aの個別化治療」
座長：長江千愛(聖マリアンナ医科大学 小児科学教室)

演者：佐藤哲司(済生会八幡総合病院 小児科)

共催：シャイアー・ジャパン株式会社

4. 「参考にすべきは活性値？ 臨床症状？～より良い血友病診療を目指して～」

座長：康 勝好(埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科)

演者：山崎尚也(広島大学病院 輸血部)

共催：バイオベラティブ・ジャパン株式会社

コーポレートセミナー(15：30～17：00)

「血友病 A 治療の今後の展望」

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学 小児科学教室)

演者：野上恵嗣, 嶋 緑倫(奈良県立医科大学 小児科学教室)

共催：中外製薬株式会社

イブニングセミナー(17：10～17：55)

1. 「後天性血友病 A の課題の克服～止血モニタリングとリハビリ～」

座長：天野景裕(東京医科大学 臨床検査医学分野)

演者：武山雅博(奈良県立医科大学 小児科学教室)

共催：KM バイオロジクス株式会社

2. 「血友病診療における包括的凝固モニタリングの重要性」

座長：鈴木隆史(医療法人財団 荻窪病院 血液科)

演者：野上恵嗣(奈良県立医科大学 小児科学教室)

共催：シスメックス株式会社

3. 「血友病のアンメットメディカルニーズに応える未来の治療選択肢」

座長：瀧 正志(聖マリアンナ医科大学 小児科学, 同横浜市西部病院 小児科・こどもセンター)

演者：大森 司(自治医科大学医学部 生化学講座 病態生化学部門)

共催：ノボ ノルディスクファーマ株式会社